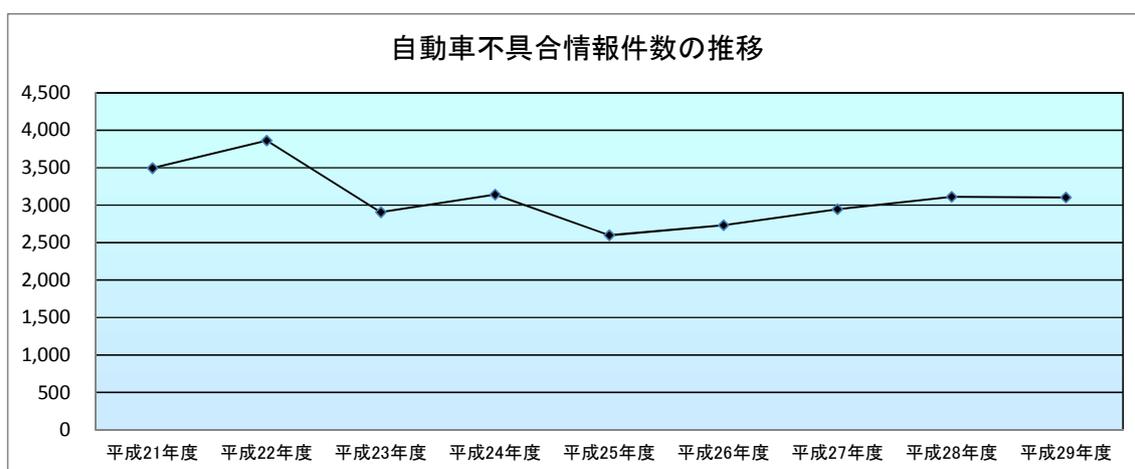


平成29年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<http://www.mlit.go.jp/RJ/>) に自動車ユーザー等から寄せられた市場での自動車不具合情報について、平成29年度の統計結果をとりまとめたので公表いたします。

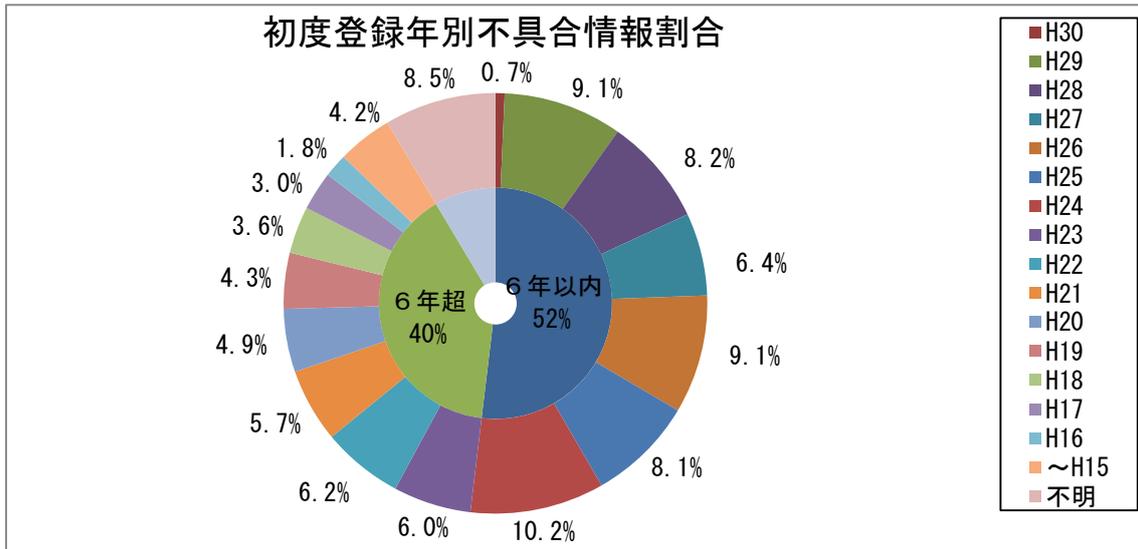
なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用等に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでもユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

1. 平成29年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた情報の件数は6,599件であり、そのうち不具合情報の件数は3,105件である。自動車不具合情報件数の推移については、平成21、22年度は、トヨタ自動車のハイブリッド車の制動装置不具合をきっかけとしてリコールに対する社会的な関心が高まった結果、不具合情報件数が3,862件まで増加したが、その後はやや減少し、最近では3,000件前後で推移している。



年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
件数	3,493	3,862	2,906	3,141	2,597	2,733	2,943	3,110	3,105

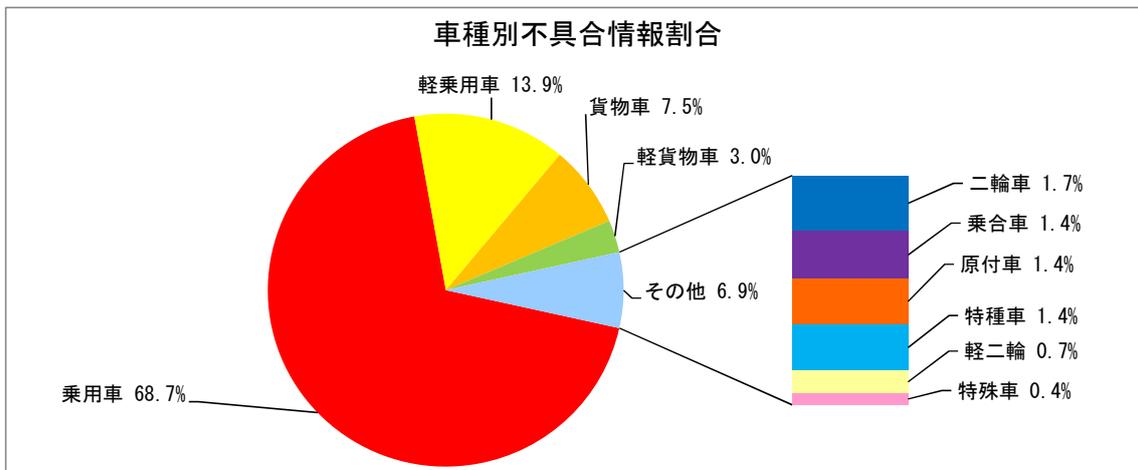
2. 初度登録年別（軽自動車にあつては初度検査年別。以下同じ。）の不具合情報件数は、初度登録年が平成24年の自動車に関するものが318件で全体の10.2%と最も多く、次いで平成26年及び29年が282件（9.1%）となっている。初度登録後6年以内の自動車に関わる不具合情報件数と6年超経過した自動車（不明を除く。）に関わる不具合情報件数を比較すると、大きな差はなく、6年以内の件数が若干多くなっている。



初度登録年	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	~H15	不明	合計
件数	22	282	256	198	282	253	318	185	193	176	151	133	112	93	56	130	265	3,105

3. 車種別の不具合情報件数は、乗用車が2,134件で全体の68.7%と最も多く、次いで軽乗用車が432件（13.9%）、貨物車が232件（7.5%）の順となっている。

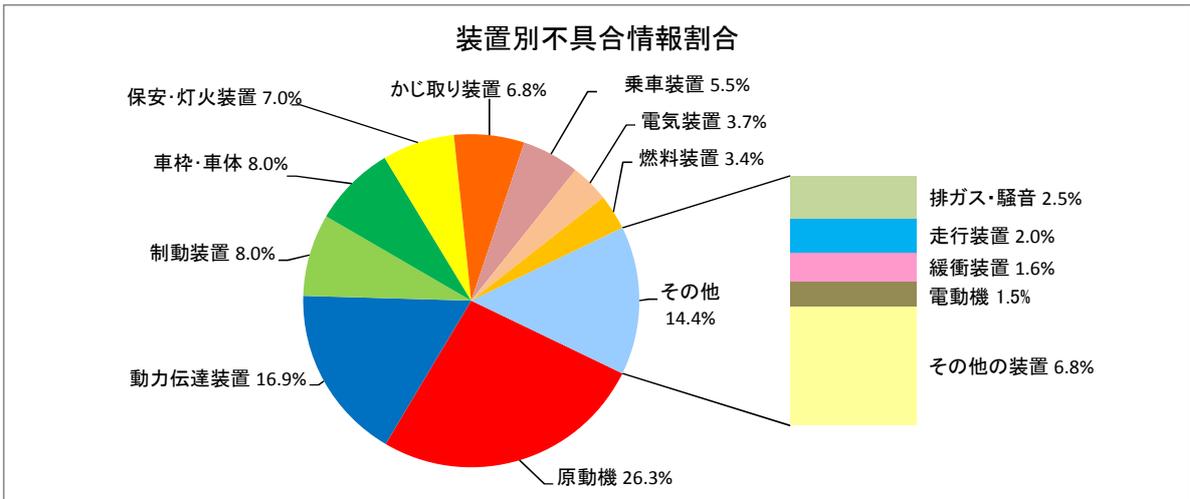
これは、平成29年3月末現在における乗用車の保有台数（39,492千台）が全保有台数（81,260千台）の48.6%であり、乗用車の普及状況が反映されているものと考えられる。



車種別	乗用車	軽乗用車	貨物車	軽貨物車	二輪車	乗合車	原付車	特種車	軽二輪	特殊車	不明	合計
件数	2,134	432	232	93	52	44	43	43	21	11	0	3,105

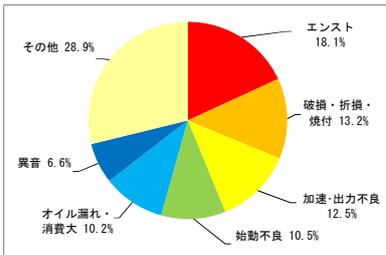
4. 装置別の不具合情報件数は、原動機が817件で全体の26.3%と最も多く、次いで動力伝達装置が526件(16.9%)、制動装置が248件(8.0%)の順となっている。

また、不具合情報件数の多い装置について不具合事象を見ると、原動機の不具合事象はエンスト（148件）、動力伝達装置の不具合事象は変速ショック（108件）、制動装置の不具合事象は制動力不足（60件）がそれぞれ最も多かった。特に、エンストは、平成22年度以降原動機の不具合事象の中で最も多い傾向が続いており、エンストが高速走行中に生じると後続車との追突事故等、重大な危険を伴うおそれもあることから、今後とも注視すべき事象である。



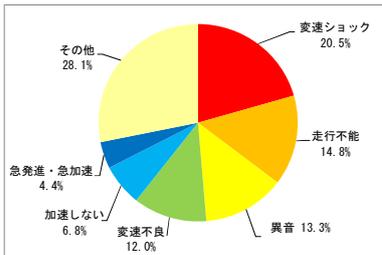
装置別	原動機	動力伝達装置	制動装置	車枠・車体	保安・灯火装置	かじ取り装置	乗車装置	電気装置	燃料装置	排ガス・騒音	走行装置	緩衝装置	電動機	その他の装置	合計
件数	817	526	248	247	216	210	172	115	107	77	61	51	46	212	3,105

1. 原動機



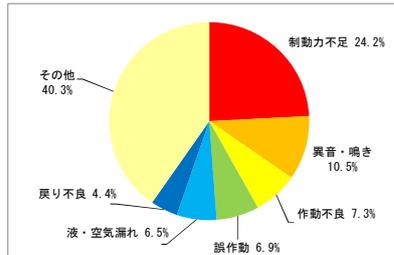
順位	不具合事象	件数
1	エンスト	148
2	破損・折損・焼付	108
3	加速・出力不良	102
4	始動不良	86
5	オイル漏れ・消費大	83
6	異音	54
	その他	236
	合計	817

2. 動力伝達装置



順位	不具合事象	件数
1	変速ショック	108
2	走行不能	78
3	異音	70
4	変速不良	63
5	加速しない	36
6	急発進・急加速	23
	その他	148
	合計	526

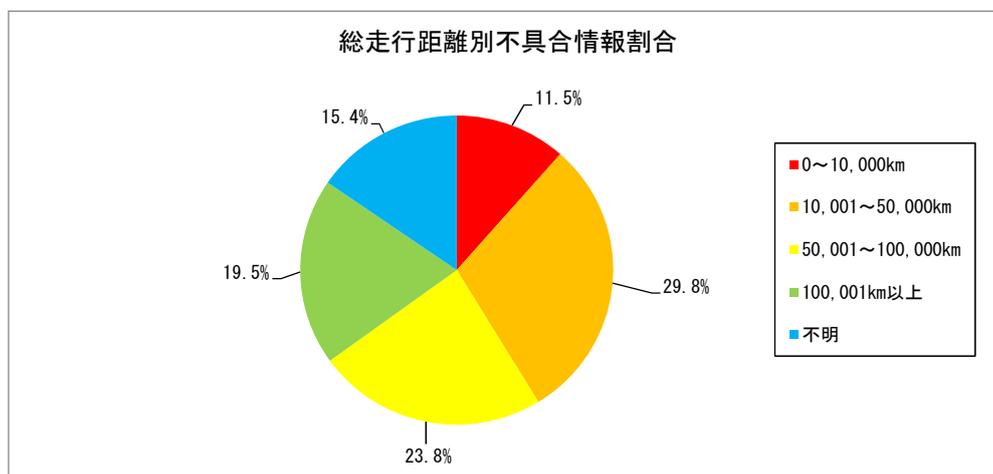
3. 制動装置



順位	不具合事象	件数
1	制動力不足	60
2	異音・鳴き	26
3	作動不良	18
4	誤作動	17
5	液・空気漏れ	16
6	戻り不良	11
	その他	100
	合計	248

5. 総走行距離別の不具合情報件数は、1万km超5万km以下が924件で全体の29.8%と最も多く、次いで5万km超10万km以下が738件（23.8%）、10万km超が607件(19.5%)、1万km以下が357件(11.5%)の順となっている。

5万km以下と5万km超の不具合情報件数とを比較すると、後者の不具合情報が多く寄せられている。

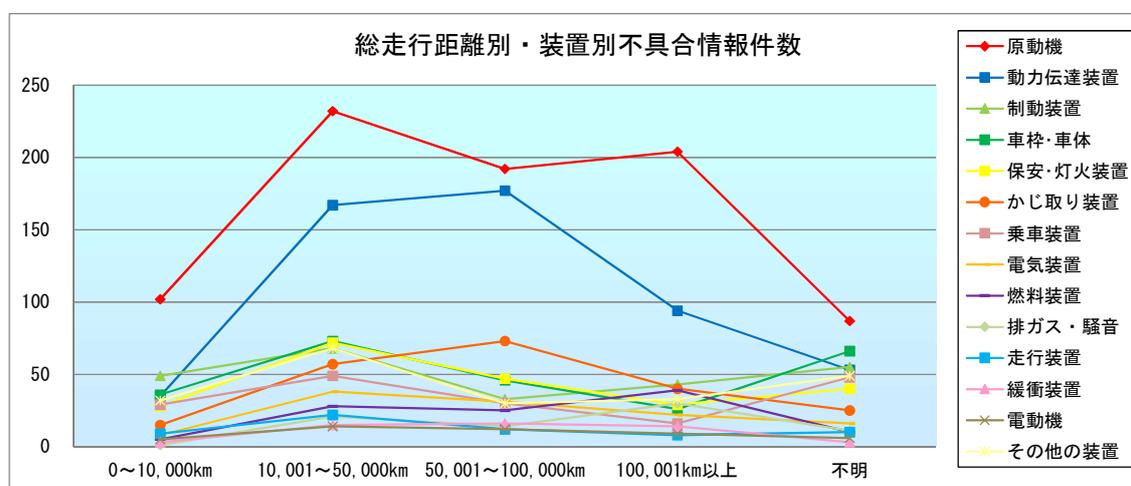


総走行距離別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
件数	357	924	738	607	479	3,105

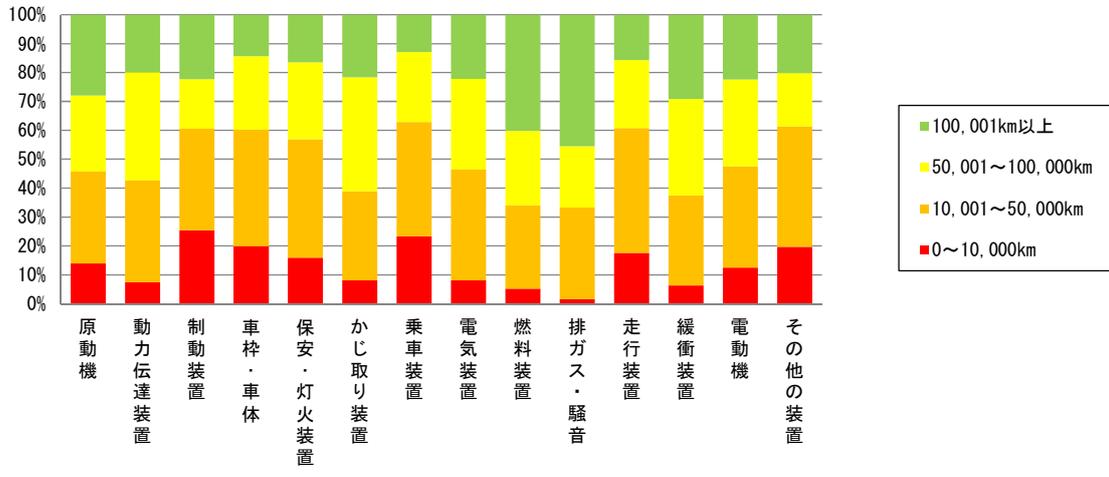
6. 走行距離別・装置別の不具合情報件数は、全ての総走行距離別の区分（不明を除く。）において原動機の不具合情報件数が最も多くなっている。装置別不具合件数上位2種について、原動機は1万km超5万km以下の不具合情報件数が最も多く、動力伝達装置は5万km超10万km以下の不具合情報件数が最も多くなっている。

また、燃料装置、緩衝装置及び排出ガス・騒音について、5万km以下と5万km超とを比較すると、後者の不具合情報件数が多くなっている。

なお、不具合情報件数が最も多かったのは、1万km超5万km以下の原動機（232件）が最も多く、次いで10万km超の原動機（204件）、5万km超10万km以下の原動機（192件）の順となっている。



走行距離別・装置別不具合割合

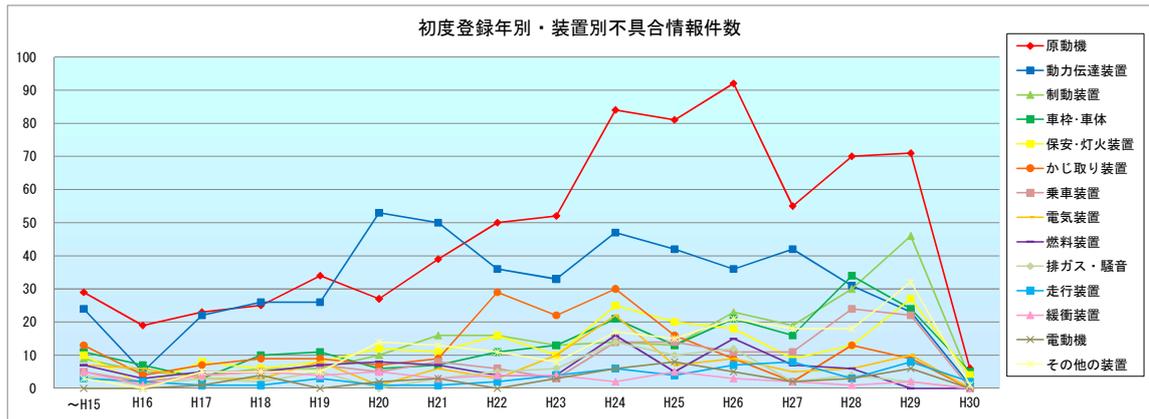


(件)

総走行距離別 装置別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	102	232	192	204	87	817
動力伝達装置	35	167	177	94	53	526
制動装置	49	68	33	43	55	248
車枠・車体	36	73	46	26	66	247
保安・灯火装置	28	72	47	29	40	216
かじ取り装置	15	57	73	40	25	210
乗車装置	29	49	30	16	48	172
電気装置	8	38	31	22	16	115
燃料装置	5	28	25	39	10	107
排ガス・騒音	1	21	14	30	11	77
走行装置	9	22	12	8	10	61
緩衝装置	3	15	16	14	3	51
電動機	5	14	12	9	6	46
その他の装置	32	68	30	33	49	212
合計	357	924	738	607	479	3,105

7. 初度登録年別・装置別の不具合情報件数は、原動機が平成24、25、26年、動力伝達装置が平成20、21年に多くなっている。

初度登録年の区分別に不具合情報件数の多い順を見てみると、初度登録年が平成26年の原動機92件、平成24年の原動機84件となっている。登録後概ね10年を超える（平成19年以前）と不具合情報件数には顕著な傾向はみられない。

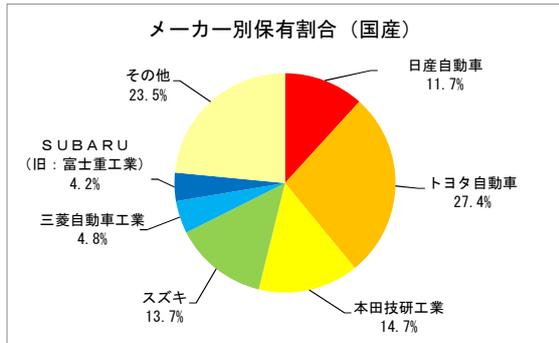
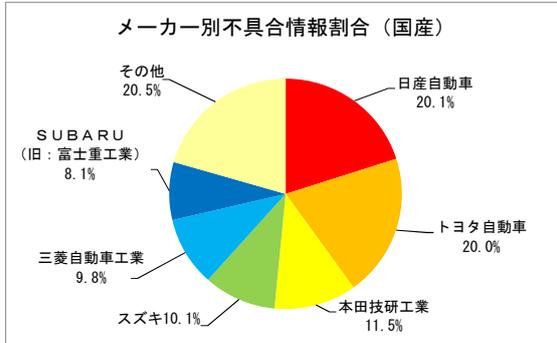


(件)

初度登録年別 装置別	~H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	不明	総計
原動機	29	19	23	25	34	27	39	50	52	84	81	92	55	70	71	6	60	817
動力伝達装置	24	5	22	26	26	53	50	36	33	47	42	36	42	31	23	1	29	526
制動装置	9	5	4	6	6	10	16	16	13	14	13	23	19	30	46	3	15	248
車枠・車体	11	7	3	10	11	6	7	11	13	21	13	21	16	34	24	5	34	247
保安・灯火装置	10	1	8	6	8	12	11	16	10	25	20	18	9	13	27	4	18	216
かじ取り装置	13	4	7	9	9	7	9	29	22	30	16	9	2	13	9	0	22	210
乗車装置	5	2	4	5	7	5	8	6	3	14	14	11	11	24	22	0	31	172
電気装置	7	6	3	3	8	1	6	3	10	22	7	9	5	6	10	0	9	115
燃料装置	7	3	5	5	7	8	7	4	4	16	5	15	7	6	0	0	8	107
排ガス・騒音	4	1	3	2	5	0	3	5	6	14	10	12	2	4	2	0	4	77
走行装置	3	2	1	1	3	1	1	2	4	6	4	7	8	3	8	2	5	61
緩衝装置	5	1	4	5	4	5	3	4	4	2	5	3	2	1	2	0	1	51
電動機	0	0	1	4	0	2	3	0	3	6	8	5	2	3	6	0	3	46
その他の装置	3	0	5	5	5	14	13	11	8	17	15	21	18	18	32	1	26	212
合計	130	56	93	112	133	151	176	193	185	318	253	282	198	256	282	22	265	3,105

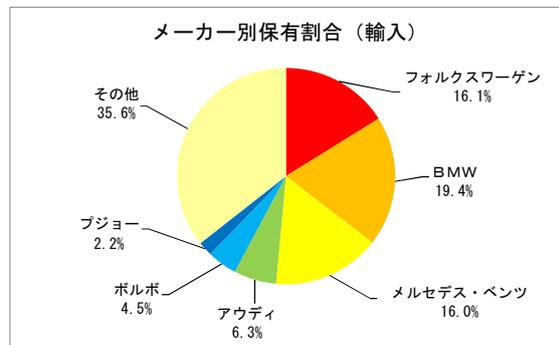
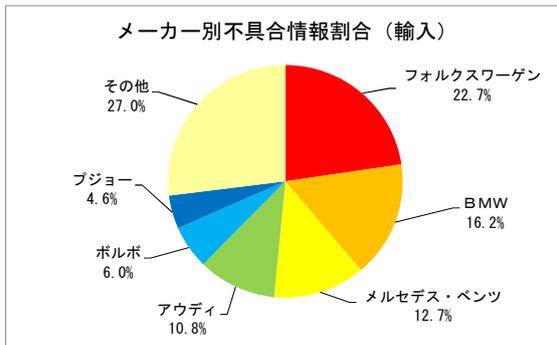
8. メーカー別の不具合情報件数（国産車）は、日産自動車が507件で全体の20.1%と最も多く、次いでトヨタ自動車が504件（20.0%）、本田技研工業が289件（11.5%）の順となっている。

また、メーカー別の不具合情報件数（輸入車）では、フォルクスワーゲンが132件で全体の22.7%と最も多く、次いでBMWが94件（16.2%）、メルセデス・ベンツが74件（12.7%）の順となっている。



順位	メーカー名	件数
1	日産自動車	507
2	トヨタ自動車	504
3	本田技研工業	289
4	スズキ	254
5	三菱自動車工業	246
6	SUBARU (旧：富士重工業)	205
	その他	518
	合計	2,523

順位	メーカー名	台数（千）
4	日産自動車	9,042
1	トヨタ自動車	21,065
2	本田技研工業	11,336
3	スズキ	10,567
5	三菱自動車工業	3,686
6	SUBARU (旧：富士重工業)	3,209
	その他	18,092
	合計	76,998



順位	メーカー名	件数
1	フォルクスワーゲン	132
2	BMW	94
3	メルセデス・ベンツ	74
4	アウディ	63
5	ボルボ	35
6	プジョー	27
	その他	157
	合計	582

順位	メーカー名	台数（千）
2	フォルクスワーゲン	685
1	BMW	827
3	メルセデス・ベンツ	680
4	アウディ	268
5	ボルボ	190
6	プジョー	92
	その他	1,518
	合計	4,260

(注)：保有台数は、平成29年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字（小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。）より算出した。なお、メーカー別保有台数の順位は不具合件数上位6社内でのもの。